
第4章 | 計画の推進

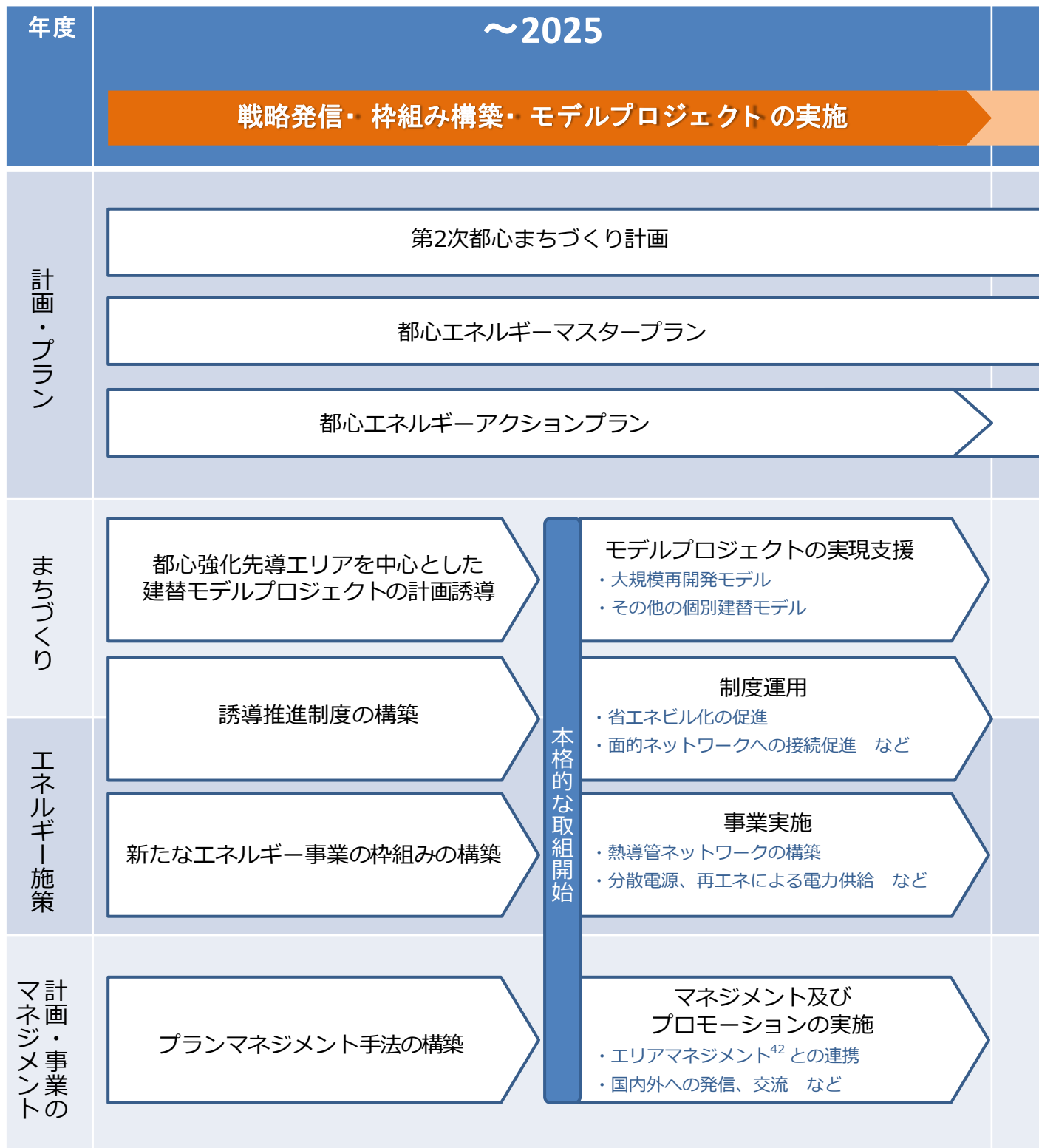
- 4-1 取組の進め方
- 4-2 推進体制
- 4-3 計画の管理・見直し
- 4-4 関係者の役割分担
- 4-5 都心エネルギープランの実現に向けて

第4章 | 計画の推進

4-1 取組の進め方

■ロードマップ

計画期間である 2035 年度、目標年次である 2050 年に向け、まちづくりの進展に合わせて長期的な視点で取組を進めます。



42 【エリアマネジメント】 41 頁参照。

2026～2035

2036～2050

中核事業の実現

波及・展開

北海道新幹線延伸、冬季オリンピック・パラリンピック招致等を契機とした建替のピーク

積極的な取組の実施・誘導

- ・地域エネルギーマネジメントの展開
- ・再生可能エネルギーの利用拡大 など

波及・展開

- ・スマートシティ⁵⁴への発展
- ・地域に密着したエネルギー利用の拡大
- ・低炭素なエネルギー源への更なる転換 など

更なる発展

- ・地域の価値、サービスの創造
- ・国内外との交流や連携の強化 など

波及・展開

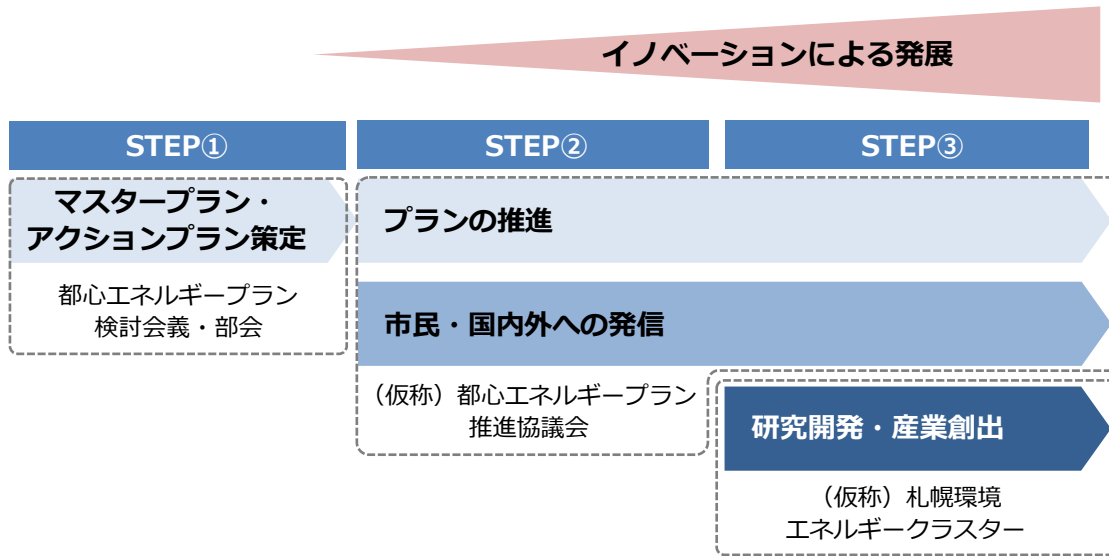
- ・地域イノベーションの創造
- ・環境先進都市として人材や企業の集積 など

状況に応じた見直し

54【スマートシティ】先進的な情報通信技術を用いて安全で快適かつ効率的に交通やエネルギー、情報などの都市基盤を管理・運営する都市のこと。地球環境にも配慮しながら、人々にサービスを提供し生活の質を高め、継続的に経済発展することを目的とする。

4-2 推進体制

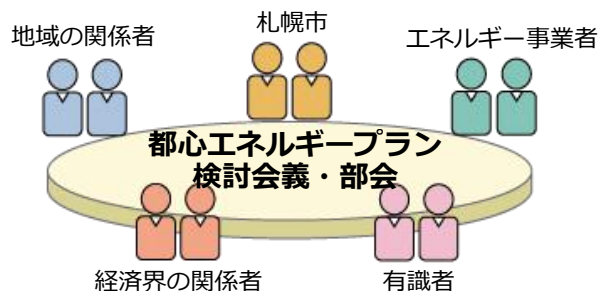
これまでに示した取組内容の展開ステップと、それに応じた推進体制のイメージを示します。多様な関係者の参画と連携を促しながら、継続的に活動を進めていくことが重要です。



STEP① マスタープラン・アクションプラン策定段階

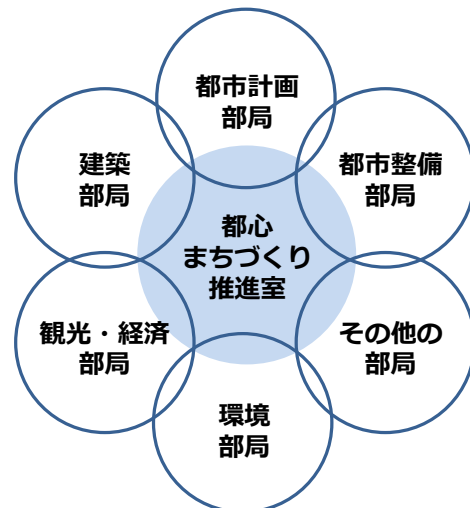
<民間事業者等との検討体制>

- マスタープランを策定するために、主要な関係者が参画するテーブルとして、2015年12月に『都心エネルギープラン検討会議』を設置し、エネルギーとまちづくりに関する課題や認識を共有したうえで、今後の取組の方向性を導き出しました。
- アクションプランの検討においても、事業化に向けたさらに具体的な検討を行い、合意形成を図りながら進めていきます。



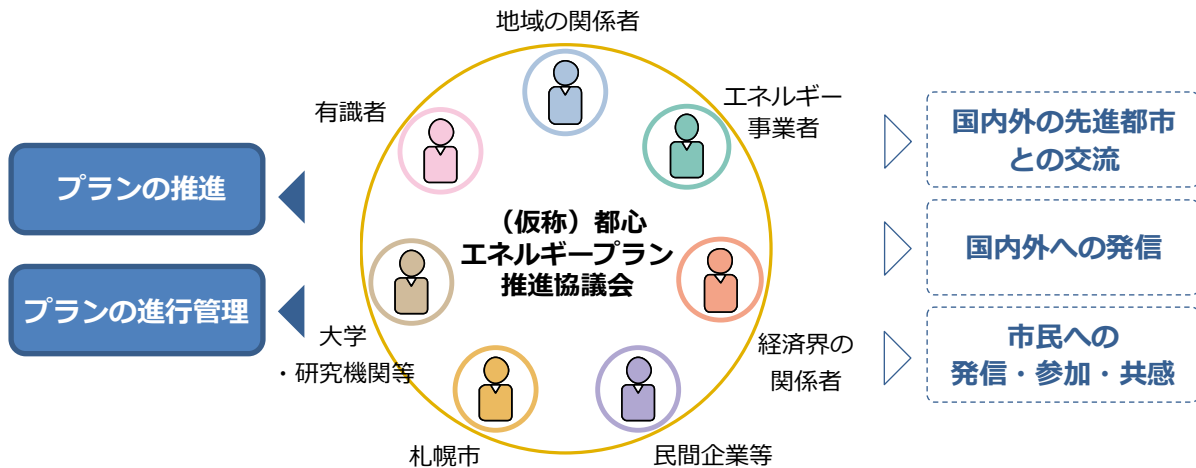
<札幌市の体制>

- 都心部のまちづくり、エネルギー施策、エリアマネジメントを一括して推進し、まちの魅力向上へとつなげるために、都心まちづくり推進室を中心として、関係部局と連携体制を構築してきました。



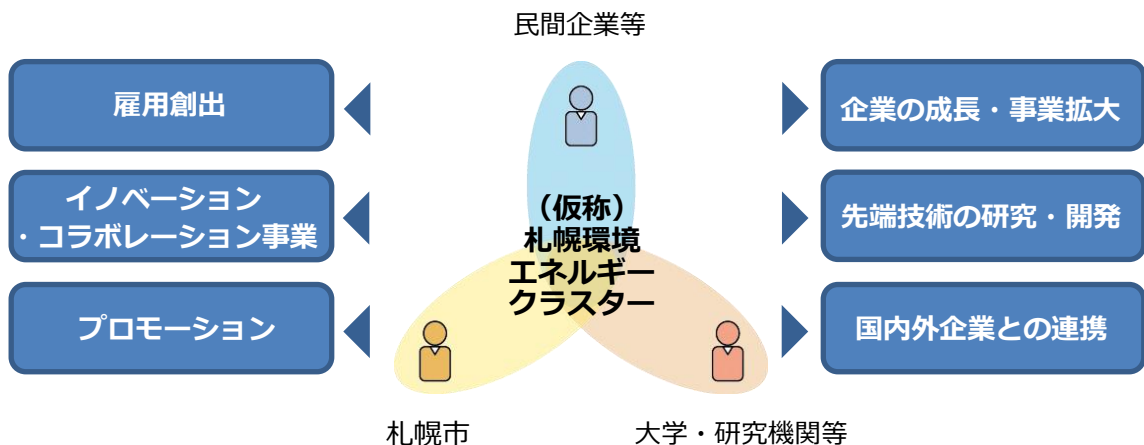
STEP② プラン推進・発信段階

- プランに基づく取組を実施する段階においては、STEP①の検討会議を母体として、さらに新たな関係者が参画する推進組織として、『(仮称)都心エネルギープラン推進協議会』を設置します。
- 推進協議会では、各種のプロジェクトの進め方の検討や、プラン全体の進行管理とともに、国内外の先進都市との交流や、市民への情報発信などを行います。
- 庁内においては、『(仮称)札幌市都心エネルギープラン推進会議』を設置し、行政の立場でプランの推進状況を管理します。



STEP③ 研究開発・産業創出段階

- 企業や研究機関が個別に取組んできた環境エネルギーに関する技術や事業を『札幌都心のソリューション』として一元化し、組織間で技術に関する情報共有、共同研究を進め、新たな産業やビジネスへと発展させるために、『(仮称)札幌環境エネルギークラスター(産官学の連携組織)』を設立します。
- エネルギーに関する先端技術の開発のみならず、まちづくり・建築・ICTなどの幅広い分野とも連携し、イノベーションの創出を促します。

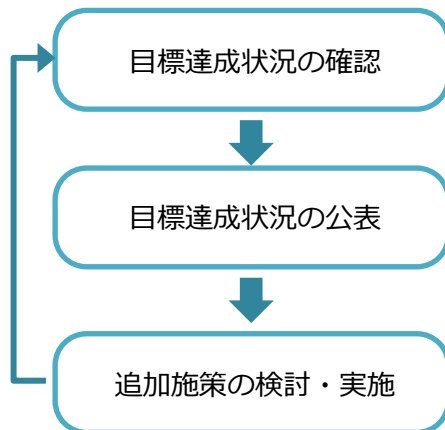


4-3 計画の管理・見直し

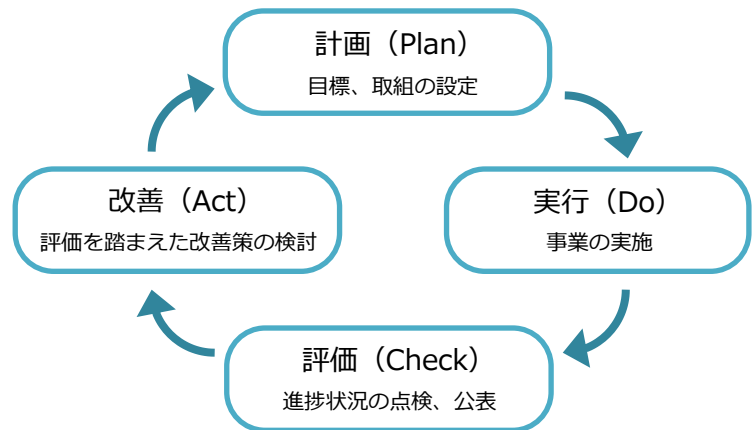
『低炭素』『強靱』『快適・健康』の3つの取組の状況について、『（仮称）都心エネルギープラン推進協議会』が中心となり、まちづくりの進展、社会情勢や技術革新等の状況を踏まえながら、プランの進行管理を行います。

「環境エネルギー施策」そのものについても、行政評価制度や市内の『（仮称）札幌市都心エネルギープラン推進会議』において、PDCA サイクルの考え方に基づき継続的な進行管理を行います。

<目標達成への進行管理>



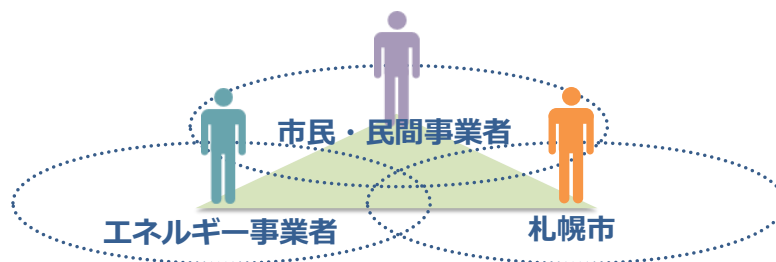
<施策の評価・見直し・アクションプランへの反映>



4-4 関係者の役割分担

プランの実現に向けた、市民・民間事業者、エネルギー事業者、札幌市各々の役割分担を以下に示します。

<関係者がタッグを組んで取組を推進>



市民・民間事業者

- 取組への理解と実践
- エネルギーの適切な利用

エネルギー事業者

- 取組への理解と実践
- エネルギーの適切な供給
- 経済性の発揮

札幌市

- 計画・指針の作成
- 関係者との調整
- 取組の率先実施

4-5 都心エネルギープランの実現に向けて

このプランで設定した低炭素化に向けた大きな目標を実現するためには、市民をはじめ、官民の様々な関係者が価値観を共有し、連携しながら、長期的に取り組を進めることが求められます。

これから 2050 年に向けて、札幌市、エネルギー事業者、ビル事業者、市民などの関係者が、その時、その時にできることを最大限に行い、個々の取組では生み出せない大きな効果を生み出すように、まちぐるみで挑戦をつづけます。

そして、全ての人々に対し、大きなメリットや幸せをもたらすことを札幌都心は目指します。

